

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** 京都府議員

発行：2022年1月16日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

2022 4月京都府知事選 7月参院選 政治変える絶好のチャンス! いのち、くらしを守る政治を!

1月2日、恒例の東大手筋での日本共産党街頭宣伝を行いました。伏見区選出の府議員2名、市議員3名に加えて、夏の参議院選挙の予定候補たけやま彩子さんと倉林明子参議院議員が訴えました。西野市議は「昨年は財政難だと市民を脅し、負担増を押し付ける行財政改革計画1年目でした。でも、市民は負けていません。今年4月実施予定だった保育料の値上げは見送られました。北陸新幹線より暮らしを守って。敬老乗車証制度改悪の実施延期を求める陳情は議会のたびに多く届けられています。市民と共産党はあきらめない!」と挨拶しました。たけやま彩子さんは「一人の声が政治を



東大手筋で“せいぞろい”新春宣伝(1月2日)

動かし、長岡京市ではすべての中学校で小学校と同じ給食が実現しました。声が届く政治をつくりまします。倉林参議院議員に続き国会へ送ってください!頑張ります!」と力強く挨拶をしました。

議員日誌

共産党市会議員団が原油価格高騰に対する支援を求める申し入れを行いました

共産党市会議員団は、京都市に対し仕事納めの12月28日に「地方公共団体の実施する原油価格高騰対策に係る特別交付税の活用を求める」申し入れをしました。コロナ禍に苦しむ市民や中小事業者に追い打ちをかけるように原油価格の高騰が深刻な影響を及ぼしています。京都府市会議員団とたけやま彩子予定候補が、12月22日に直接国へ行き、対策を求めました。国の担当者は「地方自治体が対策をすればかかった費用の半分は国が交付税措置をする。対象は自治体の裁量で何にでも使える」と説明しました。京都市内では、タクシー事業者やハウス農家、クリーニング店

や燃糸業者等、様々な業種の方々から悲鳴が上がっています。早速、市に対してこの制度を活用した支援策を行い市民生活を応援するように強く求めました。



京都の国会議員、市会議員がせいぞろい

市役所に出勤する市の職員に向けて、恒例の初出宣伝を市役所東門前で行いました。市会議員18人と穀田恵二衆議院議員、井上さとし参議院議員、倉林明子参議院議員、たけやま彩子予定候補が勢ぞろいをしました。その後全員で記念写真をパチリ。

2022年に予定されている春の知事選挙と夏の参議院選挙勝利に向けて、頑張る決意を固めました。



市会議員団控室の杉玉

昨年、北区杉阪の方から「違法な盛土があり危険を感じている。何とか強い指導をしてほしい」という内容の陳情が寄せられました。早速、現地調査と聞き取りを重ね、委員会質疑をしました。「ネットで質問を見た。最初は公明党に相談したが共産党にも相談してよかった。真剣に取り組んでもらって心強かった」との声が届きました。写真は杉阪中川地区の杉玉です。

